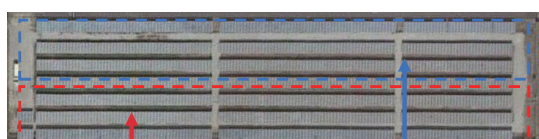


リパワリングPCSの特長

発電量アップ

PCSの変換効率向上、力率調整による発電ロスの低減などにより、発電量が増加。

【事例】岡山県某市、DC容量：1666.35kW、AC容量：1000kW（集中型PCS2台）、連系日：2014年10月



発電量データ比較

	HUAWEI	他社	比率 HUAWEI/他社平均
PCS型式	SUN2000-62.5KTL-NHM0	500kWPCS	106.38%
PCS台数	9台	1台	
DC容量	833.28kW	833.07kW	
AC容量	500kW	500kW	
発電量記録 4月21日13:37:00 ～ 5月19日13:17:00	91,274.20 kWh	85,144.50 kWh	

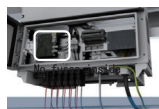
2. メンテナンスコスト削減

セントラルPCSの定期交換部品がなく、エンクロージャーも必要ないため、空調コストなどのメンテナンスコストを削減できます。

1. 定期交換部品なし



2. メンテナンスフリー



3. 故障リスクの分散化



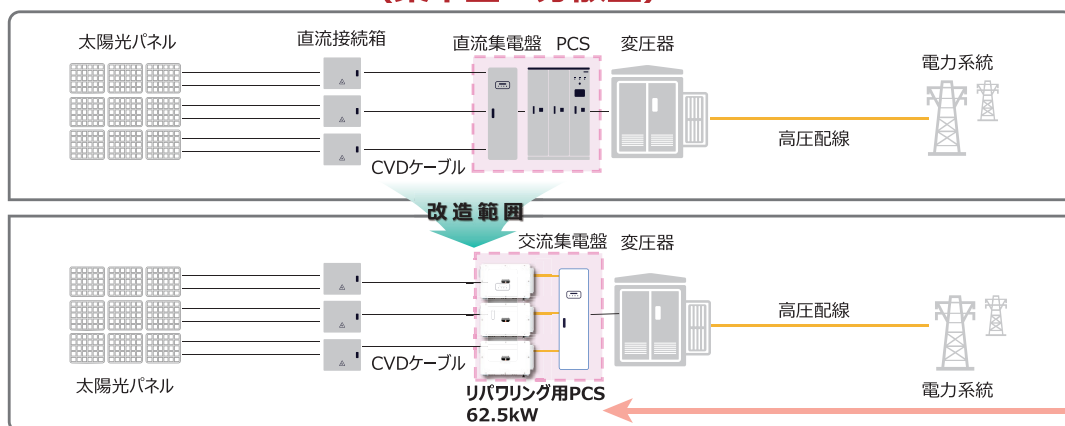
4. スマート遠隔管理



3. 優れた施工性により、PCS交換コストを削減

従来の分散型PCSは既設の集中型PCSと電圧値が合わないため、ストリングス変更が発生し、配線組み換え工事が必要でした。SUN2000-62.5は電圧値を既設のPCSに合わせているため、PCSを交換するだけで工事が完了します。

(集中型→分散型)



PCSを入れ替えるだけ
ストリングスは変更なし